

国史跡大知波峠廃寺跡のき損行為

湖西市大知波にある国史跡大知波峠廃寺跡には、石垣や柱の礎石、池などの重要な遺構があります。この重要な遺跡の形が無断で変えられていました。

1 違法行為発見の場所

国史跡大知波峠廃寺跡（湖西市大知波）

2. 違法行為

史跡のき損

文化財保護法第125条（現状変更等の制限）/同第196条（罰則）

3. 経緯

- ・ 令和4年12月15日 市職員が大知波峠に行った際に、池の改変を確認。看板を池付近に設置。
- ・ 同16日 文化庁へ文化財保護法に基づき、き損届を提出。
- ・ 令和5年2月6日 現地確認（12月時点からさらに池の堰を掘り起こし、崩した痕跡を確認）
- ・ 同16日 湖西警察署へ相談

4. き損の状態

指定地の中央に位置する上段と下段の池付近において、土地が掘削され、土手を作り地形を棚田状に改変された（面積：約47㎡）。



2016年の状態



2023年の状態

5. 報道掲載のお願い

注意喚起のためこの案件について、報道掲載をお願いいたします。

《メディアの方へ》

- 取材をお願いします。
- 事前告知をお願いします。
- 情報提供をします。

《発表種別》

- 記者会見発表資料
- 記者会見情報提供資料
- 随時

《問い合わせ先》

所属名 文化観光課
連絡先 053-576-1140
担当者 鈴木・大須賀・後藤